

おうち

第13号

2008.9

テーマ「自然とのかかわり」



表紙絵「わたしのたからもの クーちゃん」まへはら ゆいちゃん（年長）

特集 「自然とのかかわり」

- ・アンケートの結果
- ・自然と遊ぼう！季節を感じよう！
- ・わくわくとちぎ発見

子どもと読みたい一冊 「ふゆめがっしょうだん」

掲示板

とちぎの幼・保・小連携 幼・保・小教職員合同研修

お知らせ

特集

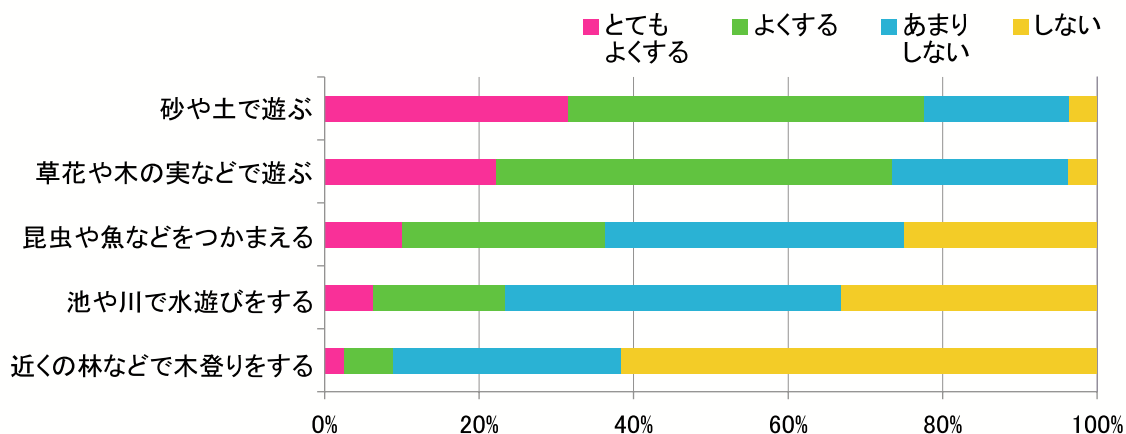
「自然とのかかわり」

今回は、みなさんのご家庭で、子どもと自然とのかかわりをどのように考えているのか、アンケートに答えていただきました。

(対象：県内の3～5歳の子をもつ保護者 回答数：5,240件)

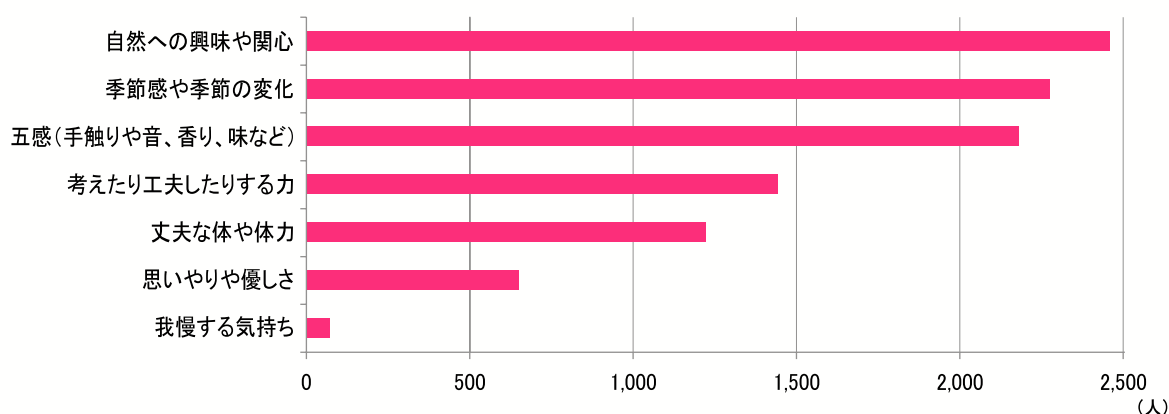
●アンケートの結果

Q1 お子さんは、ご家庭で普段どんなことをして遊んでいますか。



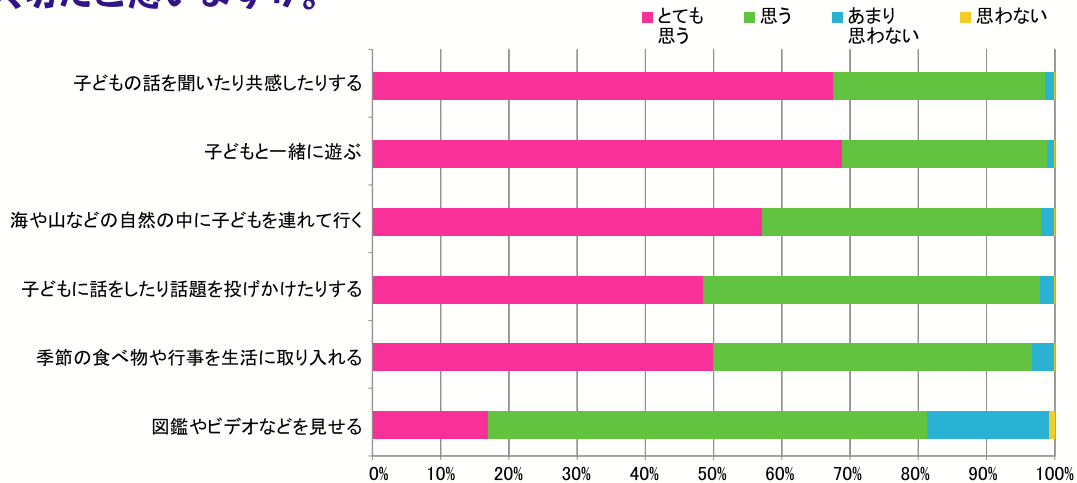
- 7割の子どもが、土や砂、草花や木の実などの身近な自然を利用して遊んでいるようです。
- 「木登りをする」や「水遊びをする」という項目では、「とてもよくする」「よくする」という回答が他の項目に比べ少ないことがわかります。

Q2 自然とかわる中で、お子さんがどんなことに気付いたり、どんなことが育ったりすると思いますか。(2つまで選択)



- 「自然への興味や関心」という回答が最も多く、身近にある自然とかわって遊ぶことを通して自然への興味・関心がはぐくまれていると考えている保護者が多いことがわかります。
- 「季節感や季節の変化」や「五感」という回答が上位を占めていることから、自然とかわる中で、豊かな感性がはぐくまれていると考えている保護者が多いことがうかがえます。

Q3 お子さんが自然とのかかわりを深めるために、保護者としてどんなことが大切だと思いますか。



●すべての項目で、「とても思う」「思う」という回答を合わせると8割を超えており、保護者は、子どもと自然とのかかわりについて、大人の働きかけが大切であると考えていることがわかります。

アンケートの結果から、子どもが自然とかわることの大切さがわかり、そのためには、普段から大人の働きかけが必要であると考えている保護者の姿が見えてきます。

保護者のみなさんが考えているように、まずは、身近な自然と直接ふれあい、そこで出会う驚きや感動、疑問など、心を揺り動かすたくさんの体験が、子どもの豊かな感性をはぐくむことでしょう。

そのためには、身近な大人が、時には、子どもと同じ目線で共感したり、時には、身近な自然の美しさや不思議さ、素晴らしさに気付かせたりすることが、とても大切です。

子どもは、遊びの中で、全身で自然を感じ取り、たくさんのことを学んでいるのです。

アンケートの選択項目では伝えきれない「自然とのかかわり」についての思いも、たくさん寄せていただきました。(自由筆記より)

子どもは、葉っぱ1枚でも、木の枝1本でも、とても楽しそうに遊びます。今はそれで十分だと思います。子どもが不思議に思ったことは、一緒に考えるようにしています。

「まんが日本昔ばなし」の打切りは、本当に残念です。祖父母の知恵や風習などが身近に感じられました。自然に抱かれる気持ちや、自然を敬う心が足りなくなっているように思います。

季節のある国に生まれてきたので、旬を楽しむことで自然とかわりたいと思います。

ゲームばかりに関心をもつ子が多い昨今ですが、自然の中で、丈夫な体をつくり、命を大切に思う気持ちを培ってほしいと思います。

木登りなどの危ないことは、先回りしてやらせないようにしてしまっていたことを、改めて感じました。親が見守りながら、体験させてあげたいと思います。

思いどおりにトンボが捕まえられず、悔しくて何度も挑戦する我が子を見ていると、自然と遊ぶ中で、気持ちを調整したり、我慢したりする経験をしているんだなと感じます。

自然と遊ぼう

幼児期の子どもにとって、自然と直接かかわることは、大切なことです。そのためには、保護者や周囲の大人の働きかけが必要です。

そこで、身近な自然を利用してできる簡単な遊びや季節を感じる遊びを、いくつか紹介します。

遠くの山や林に出かけなくても、身近な自然で簡単に楽しめる遊びがたくさんあります。においをかいだりさわったりしながら、楽しく遊んで自然と仲良くなりましょう。

花輪を作ってみよう

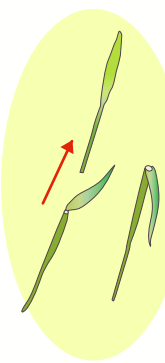


シロツメクサ



元になる1本の花の茎にシロツメクサの花や葉を巻き付け、長く伸ばしていきます。かんむりや首飾りにします。

笛をふいてみよう



スズメノテッポウ

穂のような花の部分をすっと引き抜き、葉を下に折ってふきます。

風と遊ぼう

かぜと あそぼう



落ち葉で遊ぼう

お ち ば
落ち葉のなかって……

- ・どんなかんじ？ あたたかい？ つめたい？
 - ・なにがみえる？ そらのいろは？ くもは？ とりは？
 - ・きし？
 - ・じめんに よこになってみて どうだった？
- このまま おひるね できるかな ……

落ち葉の中は、あたたかい。
枯れ葉の間でかくれんぼも
楽しいよ。一日中遊べるよ。



季節を感じよう



日本には、春・夏・秋・冬の四季があります。それぞれに、季節を感じる遊びがあります。今の時期、秋ならではの遊びをたっぴりと楽しみながら、豊かな感性をはぐくみましょう。

お月見

秋といえば、お月見。名月といわれる十五夜や十三夜に月を観賞します。季節の収穫物やススキなど秋の植物を飾ります。

ススキは、秋の七草のひとつです。
秋の七草はこの時期に野山に咲く代表的な植物です。7種類、知っていますか。



ハギ



ススキ



キキョウ



ナadeshiko



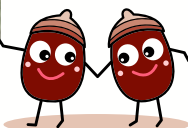
オミナエシ



クズ



フジバカマ



月を見て「ウサギが餅つきをしている。」と言いますが、国や地域によって様々な模様に見えるようです。



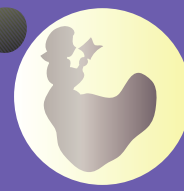
日本・うさぎ



ヨーロッパ・かに



アラビア・ライオン



北ヨーロッパ・本を読むおばあさん



おばあちゃんとお団子作ってたよ。



虫の声

虫の鳴く声を美しい音色として楽しむのは、日本の伝統的な文化です。これらの音は、少なくなってきていますが、まだまだ町中にも残っています。テレビを消して、耳を傾けてみてください。

♪あれ まつむしが ないている
チンチロチンチロチンチロリン
あれ すずむしも なきだした
リンリンリンリンリーニン
あきの よながを なきとおす
ああ おもしろい むしのこえ♪

♪キリキリ キーリキリ こおろぎや
ガチャガチャ ガチャガチャ かつむし
あとから うまおい おいついて
チョンチョン チョンチョン スイッチョン
あきの よながを なきとおす
ああ おもしろい むしのこえ♪

どんな声がきこえるかな？



★参考文献★

山田卓三 「からだを感じる あそび事典～五感をひらく原体験 100 集～」 農山漁村文化協会
ながたはるみ 「植物あそび」 福音館書店
藤井 旭 「太陽と月の星ものがたり」 誠文堂新光社
「明日をつくる子どもたちの環境学習（幼児・小学校編）」 栃木県教育委員会

わくわくとちぎ発見

わたしたちの住んでいる栃木県は、豊かな自然に恵まれています。栃木県総合教育センターのホームページにも、栃木県の自然に関する情報が満載です。ぜひ、ご覧ください。

(<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>)

ニホンアマガエル

- ・目と鼻の穴の間に黒い線がつながっているのが特徴です。
- ・背中の色は、周りの色に合わせて変化するので、緑色または灰色っぽい色をしています。



- ・オタマジャクシは、目か外に飛び出ているのが特徴です



とちぎのカエル図鑑

○学校や家のまわりの田んぼでは、田植えが始まる頃からカエルの大きな鳴き声が聞こえてきます。みんなの周りにはどんなカエルがすんでいるのかな。

<田んぼにすんでいる主なカエルたち>



<田んぼ以外の場所では、こんなカエルが見つかるかも>



☆栃木県内には、これらのカエル以外にも、タゴガエル、ナガレタゴガエル、ヌマガエル（全部で13種）が住んでいます。



わくわくとちぎ発見

いろいろな「とちぎ」を見つけよう

身近なところにも自然がいっぱい
とちぎの産地はどうなっているのかな？
新たな「とちぎ」発見に挑戦しよう。

ご意見メール

季節をさがそう

とちぎの鳥

とちぎのカエル

とちぎの昆虫

とちぎの植物

とちぎの動物

とちぎの地質

とちぎの気象

とちぎの歴史

とちぎの産業

とちぎの人口

とちぎの文化

とちぎの自然

とちぎの環境

とちぎの教育

とちぎの健康

とちぎの安全

とちぎの安心

とちぎの未来

とちぎの希望

とちぎの夢

とちぎの理想

とちぎの未来

とちぎの希望

とちぎの夢

とちぎの理想

草花であそぼう

- 草花を使ってこんなあそびができます。
- つくり方やあそび方は、下の番号の数字をクリックして、せつめいを見ましょう。
- おうちの人や先生にも、草花のあそび方をきいてみよう。



このページを見て、
自分が子どものころを思い出しました。

息子と一緒に笹舟を作り、
水に浮かべてみたら、
大喜びしていました。



栃木県立博物館 (<http://www.muse.pref.tochigi.jp/>) や
栃木県立日光自然博物館 (<http://www.nikko-nsm.co.jp/>)
などのホームページなどもご覧になってください。
自然とふれあうきっかけがきっと見つかります。

「ふゆめがっしょうだん」

長 新太 文／富成 忠夫、茂木 透 写真 福音館書店



この本には、木の芽の冬の姿を拡大した写真がたくさん集められています。

「うさぎさんみたい。」「コアラに似てる。」とページをめくるたびに、クスッと笑ってしまうほど、不思議と顔に見えるものばかりです。

公園や林など身近な場所でも見つかるので、本を片手に、お気に入りの顔を探すのもおもしろいですよ。

子どもが楽しそうに「おうち」の表紙の絵を見ていたので、「なんだろう」と私も読み始めました。いつもほのぼのとしていて、いいですね。

子育てについて、よく言われる視点、あまり考えたことのない視点、忘れがちな視点を投げかけていただき、自分の考えや態度を改めるきっかけになっています。

「とちぎの幼・保・小連携」について初めて知りました。

単に先生方の研修ではなく、子どもたちを支えるための取組であることがわかり、心強く思います。

掲

示

板

自由意見で
寄せられた声です



「おうち」は、子育ての知恵袋になっています。これからもたくさんの仲間の知恵をお借りしたいと思っています。

今年度で子どもが卒園なので、幼・保・小連携の話が参考になりました。「おうち」を読めなくなるのは、残念ですが、ホームページで見させていただきます。

最近、きちんとしつけをしている親が少ないような気がします。

みなさんの家では、どのようにしているのかを教えてください。

➡ 次号のテーマは「ルールやマナー」です。しつけに関するご意見などもお寄せいただけるのではないかと思います。下欄をご覧ください。

「おうち」は、栃木県教育委員会の幼児教育担当部門である「幼児教育センター」が、子育てをしている方々へ、子どもについての情報を提供するために発行しています。

バックナンバーはホームページで読むことができます。(アドレスは次ページ参照)

また、表紙の絵やカット、子どものつぶやきなどを随時募集しています。

★アンケートのお願い★

次回テーマ「ルールやマナー」

みんなが気持ちよく生活するためのルールやマナーについて、みなさんのご家庭では、どのようにお考えでしょうか。アンケートでお寄せください。

「おうち」は皆さんの声で構成する家庭教育誌です。ぜひ、ご協力ください。アンケートは幼稚園・保育所にお出ください。直接、幼児教育センターへお出しいただくことも可能です。

とちぎの幼・保・小連携

③ 幼・保・小教職員合同研修

このコーナーでは、11号から「幼稚園・保育所・小学校の連携（以下「幼・保・小連携」という）」について掲載しています。「幼・保・小連携って一体、何のこと？」という方も多いのではないのでしょうか。簡単に言えば、「幼稚園・保育所・小学校の先生たちが協力し合って子どもの育ちを支えよう」というものです。前回からその取組を具体的に紹介しています。

幼・保・小教職員合同研修では、幼稚園・保育所・小学校の先生方が一緒に研修をしています。幼児教育センターが設立された年から始まり、今年度で7年目を迎えました。

この研修は、園長先生や連携担当の先生方を対象に広く連携の意義を考えていただく「中央研修」と、年長児と1年生を担当する先生方を対象に子どもについて具体的に協議いただく「地区別研修」の二本立てになっています。特に地区別研修は、お互いに子どもの顔がわかる関係で協議をするために、同じ市町ごとの中学校区を基本にしたグループで行い、地域に密着した研修としてセンターでも力を入れています。

今年度の地区別研修では栃木県教育委員会が作成・配布した「ルールやマナーを考えるポスター」（右図）を



ポスターを使っている協議の様子

使い、幼・保・小の先生方それぞれがどの場面を用いてどのように指導するかを話し合いました。

それぞれの指導内容や方法を話し合う中で、子どもの実態やかかわり方、指導目的などの相違点や共通点が浮かび、それを基に小学校入学を前後にした子どもへの指導について、新たな目で考えることができました。

参加した先生方からは「同じテーマで話し合え、参考になった。」「子どもが入学前に経験してきたことがわかった。」「互いの指導内容や方法の共通点や相違点がわかった。」等の感想が寄せられています。

お知らせ



家庭教育ホットライン（保護者専用）

保護者の皆さん！お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか？

秘密は絶対に守ります！一人で悩まず気軽に御相談ください！

TEL 028(665)7867

受付時間 毎日午前8時30分から午後9時30分まで

【午後9時30分～午前8時30分までは留守番電話・FAX（電話番号と同じ）で対応】

栃木県教育委員会

とちぎテレビから

とちぎテレビ番組「とちぎ教育新事情」の御案内

「おうち」第13号に関するテレビ番組を下記のように放映しますのでご覧ください。

日 時：平成20年11月30日（日） 10：10～10：30

再放送：平成20年12月 1日（月） 12：05～12：25

内 容：「自然とのかかわり」

家庭教育誌「おうち」第13号

平成20年9月発行

発行者 栃木県幼児教育センター

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215

FAX 028-665-7216

URL：<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

e-mail：yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp